

東田利町報

No. 278 昭和53年 5月1日発行 昭和42年 7月21日第3種郵便物認可 毎月1・15日発行



【表紙のことば】＝「火災は人災・防ぐはあなた」－4月15日老方地区大火防止訓練で

No. 278

5 / 1

ひとくちメモ

晴れた日に

大掃除を

五月は新緑の季節。吹く風にもさわやかさが感じられ、比較的気象災害の少ない月といえます。しかし、晩霜、低気圧によるあらしや、ひょう、濃霧、山の遭難などいろいろな災害がおこる月でもあります。

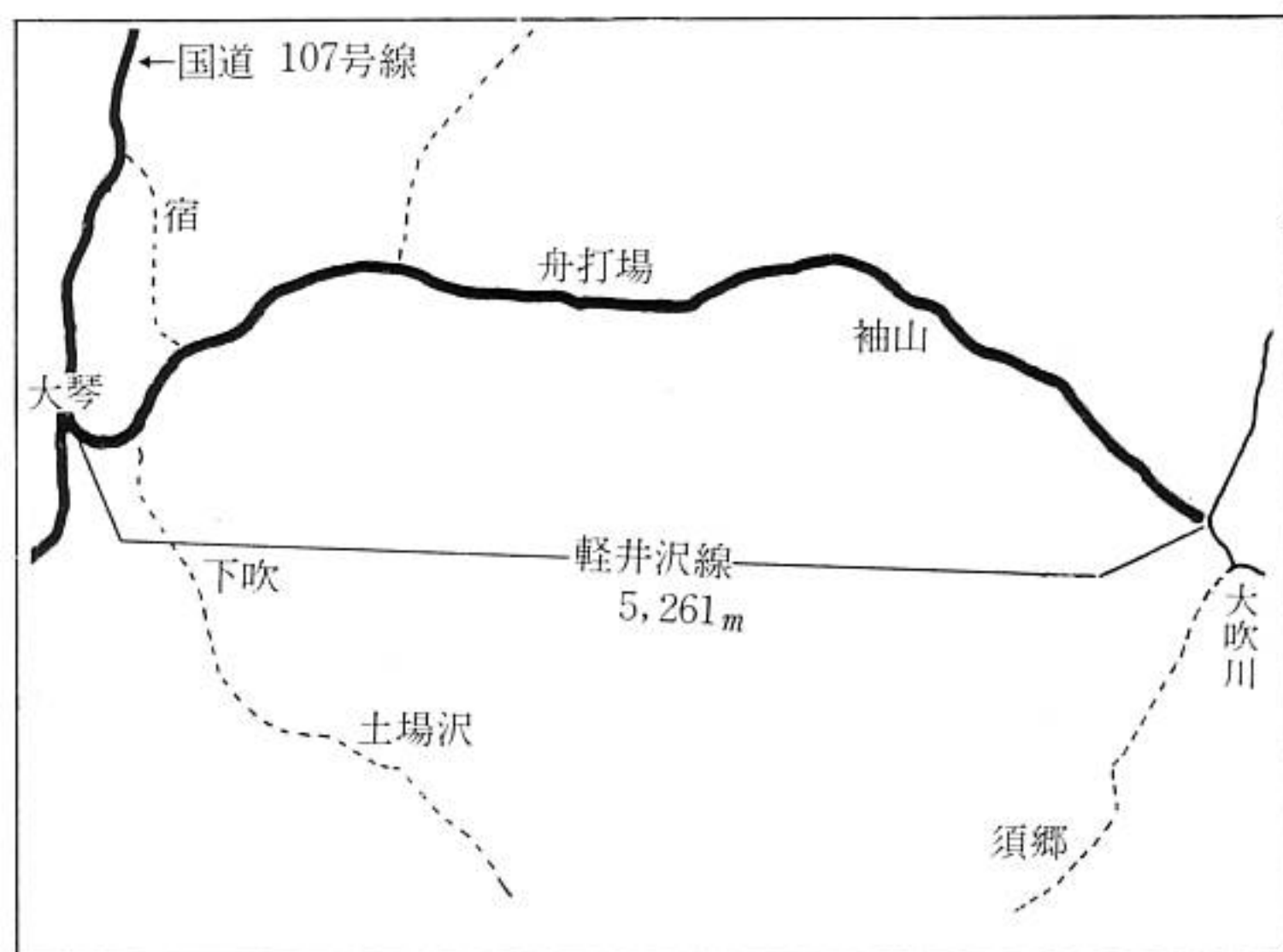
五月の天気は周期的に変化しますが、移動性高気圧が東西にたがって晴天の続くことがあります。そして、時には日中の最高気温が三〇℃を越すような暑い日もある一方、後半にはつゆのはしりがあらわれることが多くなります。

▼大掃除

つゆ入りを前にして、天気の良いうちに家の内外の大掃除をしておきたいものです。物を干すのは午後三時頃までがよく、それ以後になると気温が下がり、湿度が急増するのでさけましょう。

＝今年度の国県予算内報＝

本町関係は18億5千5百万円余



袖山線

農免農道で着工
八千五百五十万円

袖山線がいよいよ農免道路として着工されます。初年度分八千五百五十万円という予算獲得に成功し、地域待望の本路線の改良が実際のものとなりました。大琴地内を起点にして、矢島館合線大吹川に接する五、二六一

この線は、大琴、下吹、宿、袖山、大吹川の各集落を結ぶ幹線道路で、沿線には約四百畝の水田や畑、採草地等があります。現在の幅員は四畝と狭いので、カーブが多く危険で、関係者からは、早くからその改良が望まれていたものです。

これが完成すれば、集落間の連絡が容易になるばかりではなく、かなりの経済効果が期待できます。これと同種事業で、昨年から実施している根小屋線についても、今年は一億円で、約六八三畝の工事が行なわれます。

国の昭和五十三年予算で、本町関係の事業費について、国会議員団より内報がありました。それによると、農林省関係では、十三億九千万円余り、建設省関係では、三億六千七百万円。林野庁関係では、一億四千八百十三万円となっています。この外、県単道路改良事業関係で、三千百万円となっています。

二次農構は 六億三千八百一十一万一千円

二次農構は、多目的研修センター二棟を含む、北部、中部、南部の経営近代化施設導入、農地造成等、三地区合せて六億三千八百一十一万一千円となっています。

その他、農林省関係では次のとおりです。

- ◎石高農道一、三〇〇万円
- ◎ミニ総パー六、〇〇〇万円
- ◎県営ほ場整備 一四一、〇〇〇万円

町道金山線

一億六千八百万円

県代行業で五十二年度から実施している。町道金山線の改良工事には、一億六千八百万円の前算がつけました。

この線は、舟木橋を起点として、沼部落を終点とする二・七七六・八畝について、有効幅員七畝、車道幅員五・五畝に改良

されるものです。

五十二年度においては、六百三十万円で、四二〇畝の改良工事が行なわれました。

五十三年度は、一億一千百万円で、約五〇〇畝の改良工事とともに、五千七百万円で、現在の舟木橋の下流、約二〇畝の所に、長さ六〇畝、幅七畝の新しい舟木橋が架け替えられます。

国道一〇七号線に

一億四百万円

国道一〇七号線の改良整備には、今年度、一億四百万円の前算がつけました。

その内容は、一〇七号線蔵工区(蔵バイパス)に対して三千万円、板戸地内改良工事に三千八百万円、大琴地内改良工事に三千六百万円となっています。

これは、昭和五十一年八月に関係五市町(横手市、平鹿町、雄物川町、東田利町、本莊市)による国道一〇七号線整備期成同盟会を結成し、関係各方面に強く要請してきた結果のもので、今後の整備事業促進と、横手、平鹿、本莊、由利の経済交流に

町道改良六路線発注

湯出野線は五八〇メートル

四月十一日、本年度の町道関係六路線、事業費総額五百六十六万三千円に上る改良工事が発注されました。

路線名等は次のとおり。
新沢線改良Ⅱ延長五二〇畝、幅

員五畝。事業費一千四百六十万円。長谷山清
湯出野線改良Ⅱ延長五八〇畝、幅員五畝、事業費九百九十万円
佐藤徳市
十二の前線改良Ⅱ延長一三三畝

も大きな期待が持てます。このほか、建設省関係では、県道改良事業費として、黒瀬線(羽後向田館合線)に二千万円法内線(神岡坂部横渡線)に七千五百万円となっています。

林野庁関係

林野庁関係では、次のようになっています。

- ◎杉森林道開設費一千七百二十万円(今年度で工事完了)
- ◎土場沢線舗装一千五百万円
- ◎軽井沢一号舗装一千五百万円
- ◎復旧治山 沼山一千五百六十万円
- ・ 桃台一千二百二十万円
- ◎地すべり対策 安堵路一千二百万円
- ・ 六助長根一千三百五十万円
- ・ 桃台一千二百五十万円
- ◎荒廃砂防 大吹川一千三百六十万円

県単道路改良関係

県道、山崎鴻屋線改良に、二千七百万円、大平橋周辺改良に四百万円となっています

幅員五畝、事業費七百七十三万円、柳沢利一
塚の越線改良Ⅱ延長九三畝。幅員四畝、事業費二百九十万円。佐々木直松
新町線改良Ⅱ延長八四畝、幅員四畝、事業費百九十万円。村上種次
蔵、上里線改良Ⅱ延長四二畝、幅員五畝、事業費百四十六万円
柳沢利一。

水田利用再編対策 町独自の推進策さまる

有利な計画転作を

町では、昨年十二月二十七日に部落代表者会議を開き、水田利用再編対策（転作）に対して各農家の協力を要請、個人別の転作計画面積をまとめてきました。

この結果、県から配分された七十九畝については、ほぼ一〇〇パーセントの協力を得られる見込みが立ちました。

これを受けた町では、三月三十一日に東田利町水田利用再編対策協議会を開催し、より具体的な推進策を協議、検討してもらい、町独自の方策をきめました。



部落代表者会議

四月五日には、部落長、部落協同班長、部落共済部長が招集され、二回目の部落代表者会議が開発センターで開催されました。

会議では、水田利用再編対策のあらましを説明するとともに、

国県の推進事業概要と、町単独の推進方法について説明のあと、質疑の応答があり、町では「今後の進め方として、水田転作のしおりを作成し全農家に配布するとともに、重点作目として、価格と販売先の安定している大豆と、飼料作物、そば（他作物との組合せが必要）の作付推進を図り、転作技術実証圃の設置と、作目毎の栽培講習会を開催したい。」

この後、水田利用再編対策（転作）実施計画書を提出してもらったことになり、本対策の趣旨を十分理解の上、部落内で相談し、できるだけ有利な計画転作の方向に結んでもらいたい」と要請しました。

町で行なう独自の推進策は次

- のとおりです。
- 一、補助対策
- (1) 転作を定着するための排水事業に對して助成する。
 - (2) 補助対象面積—20ア以上（国県等の補助事業地除く）
 - (3) 補助対象—機械の利用料（バックホー）
 - (4) 補助金額—10ア当り）暗渠—一〇、〇〇〇円 明渠—五、〇〇〇円
 - (5) 条件—事業実施田は3ヶ年間は転作しなければならぬ
 - (6) 計画転作加算地区に對しては10ア当り五、〇〇〇円を交付する。（但し、加算地区内のバラ転、通年施行分は除く）
 - (7) 簡易サイロ（コンパネサイロ）設置費に對して助成する。
 - (8) 標準事業費—一基一八、〇〇〇円
 - (9) 補助率—二分の一以内
 - (10) 補助金額—一基九、〇〇〇円以内
 - (11) 排水事業用機械（バックホー）購入及び、大豆栽培管理機械の購入に對して予算の範囲内で補助する。

農村後継者対策懇談会開く

農村における花嫁、花婿不足が叫ばれて久しい。

我が町においてもその例にもれず、早急な対策が必要とされています。

町ではその足がかりとして四月七日、開発センターにおいて

農村後継者対策懇談会を開催しました。

この懇談会には、町内各地区から仲人として豊富な経験を持つ人達九名と、議会産経委員、公民館長、商工会長及び高橋商工会指導員に集ってもらい、嫁

ミニ辞典

泌と沁

「煙が目には沁みる」は沁の間違ひ。しとひの勘違ひでもある。泌は分泌物などと使い、にじむの意味。

泌尿器と沁尿器は、尿の分泌と排泄をつかさどる器官であり、後者が誤りである。なお分泌の読みは、ぶんびでもぶんびつでもよい。

栽と裁

栽培と裁培はもちろん栽でなければならぬ。裁は木を植えることなので木のついた栽。例えば盆栽。裁は布をたつて衣がつく。裁縫、洋裁。

似た文字に裁がある。裁然はせつせんと読み、物事のけじめがはっきりしているさまをいう。

婿不足の現状と問題点、その対策について話し合ってもらったものです。

町では今後もこのような懇談会を開催するとともに、協議会を設置するなど具体的な対策をもつて、農村のあとつぎ確保に取り組んでいきたいので、町民の皆さんのご協力をお願いいたします。

以下話された内容の一部を紹介いたします。

東田利は魅力がないと決めつけている人がいるが、決してそうではない。それが証拠には他町村、他県からも嫁、婿が来ているではないか。むしろ、東田利のよさというもののP・Rが不足しているのではないか。

もらいたい人はたくさんいるが、なる人は少ない。つまりは町内において、嫁、婿の絶対数が少ないのである。東田利のよさを知ってもらう意味で、町外に出てくる若い人たちの町内視察をやってみたらどうだろう。また、若い人たちの交流する

場、機会というものを多く作ってやたらどうだろう。

結婚相談所を開設したら婿不足のもう一つの大きな原因としては、男の働く場が少ないということがあげられる。嫁はほしいが、娘は農家にやりたくないという気持ちがあるので、その辺は少し考えなくてはならないのでは。

地域によっては、結婚の性格というか、結婚に至るまでの性格というものが多少違うのではないだろうか。役場なり、どこか情報の得られる機関で、プライバシーを侵さない程度で、結婚の実態というような資料の整備、提供をお願いしたいものである。

最近、若い娘さんの中にも、相手の男性しだいでは農家に嫁いでもいいという人が、少しずつではあるが増えているという魅力ある町づくりと同時に、魅力ある青年を育てることもまた大切なのではないだろうか。

時
会
臨
議

宿小 小学校 建築費など 一億八千八百九十八万三千円補正

東由利町議会第三回臨時会は五月十二日に招集され、次の案件について審議、全案件を原案どおりに可決しました。

◆ 東由利町税条例の一部改正

正
地方税法等の一部を改正する法律、地方税法等の一部を

改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が、三月三十一日に公布されたことに伴い町条例の一部改正が必要となったもの。

◆ 専決処分承認を求めると比較したもの別表です。

昭和三十三年度東由利町一般会計補正予算(第一号)歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ一億八千八百九十八万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ一億八千八百九十八万三千円とした。

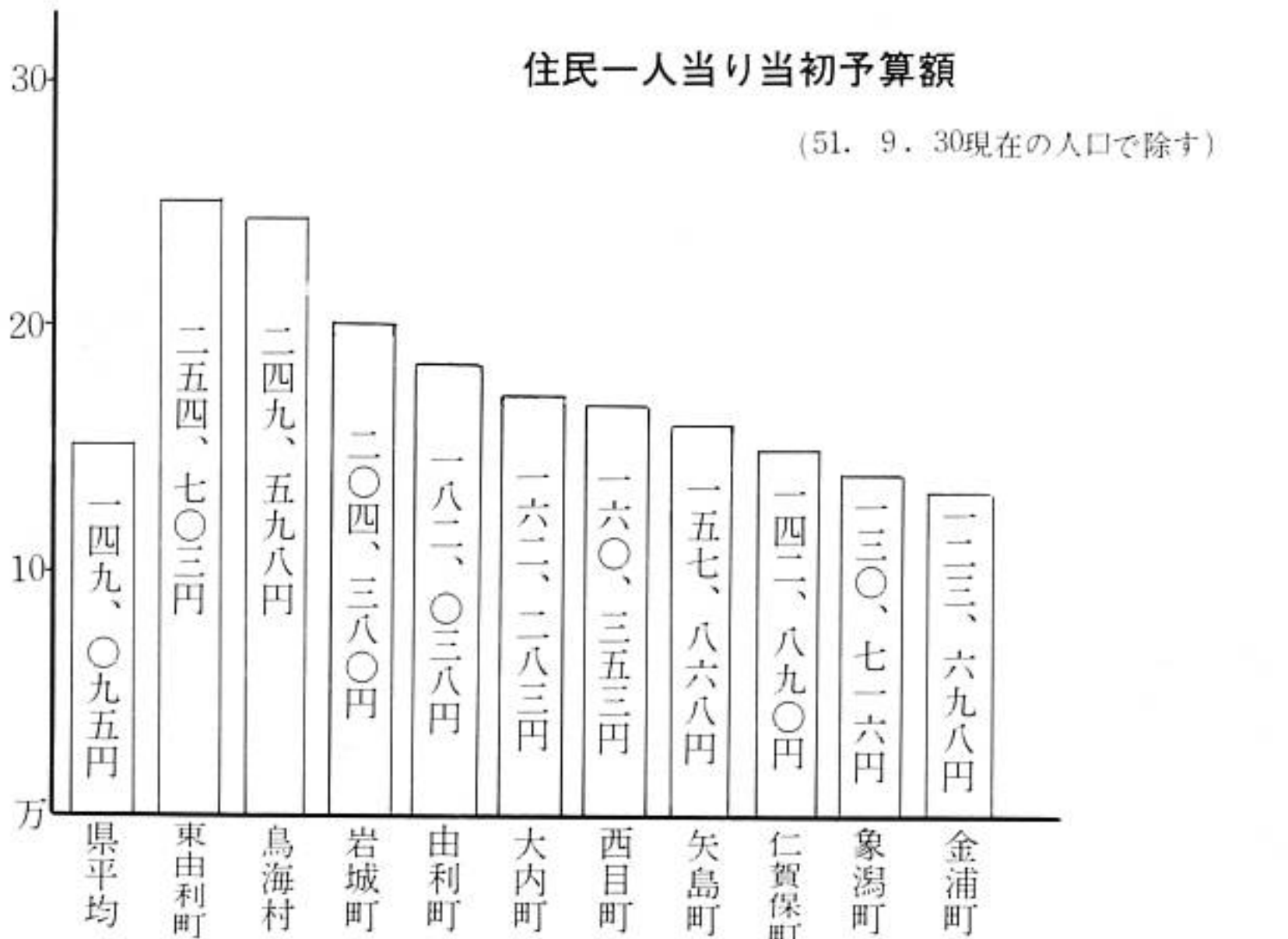
歳出補正の内容は、次のとおり。

農林総合整備計画関係費 三百五十万円
宿小小学校建築費一億八千八百九十八万三千円。

町民1人当り予算額 全県で5位

今年度の本町における一般会計当初予算の総額は、十三億九千五百三十三万七千七百七十九円となっており前年度の同予算に比べて、三億二千三百六十七万七千七百七十九円、率にして二・五五の増となっております。

我が町の状況を客観的に理解するため、住民一人当りの予算額を、県平均及び郡内他町村と比較したものが別表です。



町長日記

風薫る五月、美はしき五月、生命の生吹が一杯な五月、その五月を迎えた。出稼の帰りの車窓から眺めたやまなみの残雪もうすれて、辛夷、山桜。山毛櫨の緑も間近である。

◎四月一日に庁内人事の異動を発表した。異動の度に感ずることは、職員が新しい業務に對しての対応力である。経験のない分野に即刻対応するには、大いなる努力が必要であって、内心頭が下がる。

◎中学校の入学式、九十二名の新入生、二名不足すれば、一年は二学級になるばかりでなく、全体の教師数にも影響するので、ハラ／＼しておつたが、関係者の努力で、九十二名の入学者、三学級の編成となつてほつとする。中学校長先生の式辞は具体的で生徒の心に長く残るであろう。

◎建設課入札(巻)、新沢線十二ノ前線、塚の越線、蔵上里線、新町線、湯出野線の六線。良い設計、良い施行、良い社会資本を残そうと、建設課員は意気込んでおる。本年度から現場に出るには必ず町の建設課の制服で出かけることにした。

◎課長会議(巻)で庁内の執務態勢について話し合い。昨年庁内に掲示した、「連絡―協

議―計画―実行―確認―報告」この実行に徹することである。

◎臨時議会(巻)で宿小の改築予算案が議決された。同時に提案した農村総合整備事業の為、航空写真に依る作図費三百五十万も可決された。

◎角田前農政部長が転任の挨拶に来庁された。本町の現在の農業関係の公共予算獲得には尽力を頂いた方である。庁員に紹介して別れを惜んだ。

◎保健推進委員会(巻)、本年度より始めた春季防火訓練大会(巻)、部落長会議(巻)、出稼グループリーダー反省会(巻)、農繁期を迎え各団体の幹部の皆様には本当に御苦勞様です。

◎役場に伊東愛子(光月)という方が見えられた。蔵出身の伊東実(光草)さんの奥さんである。御両人の句集「雁の子」の贈呈を受けたはずしたる古曆にも一礼す

山分校は悲しきものや雲の
光 月
光 草

「老方小学校から火災発生」?

大防止訓練老方地区で実施

春季防火週間最終日の四月十五日、連日晴天が続く、併せて低気圧の影響によるフェーン現象を来し、湿度の低下と、強風のため火災の発生しやすい状況の中で、午前十時二十分、老方小学校調理室付近から火災発生必死の消火活動にもかかわらず火の粉は、折からの強風にあおられて付近の工場に着火炎上という想定で、老方地区の火災防止訓練が実施されました。

十時二十分 小学校から火災発生、緊急連絡を受けた消防団長は、気象悪条件下のため、管内の大型サイレンを吹鳴させ、全分団の出動を命令した。

延焼防止と、飛火警戒のため、老方地区の婦人消防隊が、バケツリレーによる消火活動と消火栓からの直結放水。

この訓練は今まで年一回行なわれてきたものですが、今年から、春秋二回実施されるものです。

今回は、町消防団、地元婦人消防隊、分署員、合せて三二一名、それに、警察官、交通指導隊、東北電力東田利出張所、消防ポンプ車十五台、救急車などを出動させる大がかりなもので、

十時四十分、必死の消火活動にもかかわらず火の粉は、折からの強風にあおられて、遂に佐藤食品工場二ヶ処に着火、第二次火災を誘発。

十時四十分、第二次現場本部を畠山衣料店前に設置して、近所への延焼防止のため全力を挙げて傾注放水。

十時五十分 消防隊総力をあげての消火活動により、第一次第二次火災とも遂に鎮火、この間約三十分。

校庭や道路いっばいに蛇行する何本ものホース、懸命に放水する団員や、避難する人達には緊迫した表情が伺えました。

十時五十分、第二次現場本部を畠山衣料店前に設置して、近所への延焼防止のため全力を挙げて傾注放水。

教職員異動

県教職員の定期異動は三月二十五日に発表され、本町関係では、小学校十五名、中学校五名、高校二名が、次のとおり異動になりました。

（一）内は前任校等。○印は校長、○印は教頭。

高の「功績章」を、また、副団長の畠山淳悦氏（袖山五十歳）に「勤続章」が、それぞれ授与されました。

佐藤団長は、昭和二十四年一月一日、畠山副団長は、昭和二十四年一月一日にそれぞれ団員となつて以来現在まで、長年にわたる団員の指導と、防火思想の普及高揚に大きく貢献してきた功績が認められたものです。

地区をあげた実戦さながらの訓練は、大きな成果をあげました。また、これと合せて、役場、農協、佐藤食品工場、東洋縫製の避難訓練も実施されました。火災はすべてを失います。これからは火災の発生しやすい季節となりますので、火気の取り扱いについては、私たち一人一人が、日頃からしつかりした心がまえでのぞむことが必要です。

「使う火を消すまで離すな目と心」みんなの注意で、火災のない町にしたいものです。

佐藤氏に功績章 畠山氏は勤続章



（畠山 淳悦氏） （佐藤 力氏）

去る三月七日、東京の日本武道館で開催された、自治体消防三十周年記念式典において、財団法人日本消防協会から、本町の消防団長佐藤力氏（戸坂四十八歳）に、日本消防協会の表彰としては最

高の「功績章」を、また、副団長の畠山淳悦氏（袖山五十歳）に「勤続章」が、それぞれ授与されました。

佐藤団長は、昭和二十四年一月一日、畠山副団長は、昭和二十四年一月一日にそれぞれ団員となつて以来現在まで、長年にわたる団員の指導と、防火思想の普及高揚に大きく貢献してきた功績が認められたものです。

高の「功績章」を、また、副団長の畠山淳悦氏（袖山五十歳）に「勤続章」が、それぞれ授与されました。

本庄高校下郷分校

【転入】 菊地富美子（講師）
【転出】 小野幸宜（本校定時制）

好きだから、は
休ませていただきます。

一滴

藍々と五月の穂高雲をいづ 蛇 笏

五月は、十月とともに一年中で最もこのころよい月で早苗月という別の呼び名もなんとなく縁を連想させる五月の声を聞くと野も山も新芽が青々といつせいにふき出し、萌黄色のもえたつような姿に変ぼうする。同じように人々もまた自然に歩調をあわせた動きをするようになる。ことしも大型連休がやってくる。海外旅行熱はまだ冷めず、依然として強い人氣にささえられているが、国内旅行の方は円高不況、低成長気運を反映して、有名観光地は敬遠して、ふるさと旅行や家庭でのごろごろ組がふえているとか。それと、世の中に不況風が吹くと今まではあまりかえり見られなかった趣味と実益をかねた、陶芸、日曜大工、園芸といった日常生活圏内の行動半径ですむ行事への転向が目立っており静かなブームを巻き起こしている。

高いお金を使つて有名観光地に出かけ、人出にもみくちゃにされ、くたくたで帰ってくるよりは、はるかに高尚であり、充実した日々が迎えられるそう。

健康づくりの担い手に

新保健推進員百二十八名を委嘱

四月四日、町開発センターで昭和五十三年度保健推進員会(畑山マサエ会長)の総会が開催され、選任替えとなった百二十八名の新しい推進員に小松町長から委嘱状が交付された。昭和五十三年度の事業計画や予算の審議が行われ、いずれも原案どおり決定、新しい役員も選任された。

町保健推進員会は「自らの健康は自らの手で確保しよう」という大原則に基づいて、昭和四十九年に組織され、以来、自主的活動を中心に保健衛生思想の普及や町民の健康増進に大きな役割を果たして来ている。発足当初は、婦人会員を中心に町内各地区から計七十八名を委嘱、二年の任期が終了した五十一年度の委嘱替えでは一挙に百

二十七名に増員して組織を強化、各地区単位に保健婦と密接に連絡をとりながら食生活の改善を目的とした栄養改善講習や医師等を招いての講演会、さらには各種検診の受診勧奨や協力等、地道ながらも着実な実践を続けて来ている。

二回目の委嘱替えの年にあつた今年度の総会は四月四日、町開発センターに各地区から選ばれた新しい保健推進員百二十八名、名中百十名、余りが出席して開催された。

部落長 永年功労者等を表彰

永年功労者等を表彰

昭和五十三年度の部落長会議が四月二十一日、町開発センターで開かれ、会議に先立ち、部落長として長年にわたり、部落自治の振興と、町行政の円滑な推進に協力され、町勢発展に寄与された八氏、並びに、納税意識の高揚に特に顕著な成績をあげている二納税組合と、個人に

に、全町民の理解と協力を要請しました。

続いて、議会議長の挨拶、来賓を代表して東田利農協長の祝辞があり、そのあと、各課からの連絡、協力依頼事項等の説明がなされ、部落長側からは、町に対し、活発な意見や要望が寄せられました。

表彰者は次のとおりです。

●部落長 永年功労者

●石綿王子雄氏(前大琴部落長)

●佐々木金蔵氏(前中通部落長)

●八島与四三氏(元家ノ下部落長)

●畠山 久八氏(前日照坂部落長)

●優良納税

●宿納税組合

●高戸屋納税組合

●小野 貞賢氏(蔵)

農協役員きまる

組合長に小松慎一氏

任期満了にともなう東田利農協の役員選挙は、四月二十日投票予定であったが、玉米、下郷両地区において、定数どおりの立候補者しかなく、新人二人を含む十七名の無競争当選が決まりました。

水田利用再編対策など激動する農業情勢の中で、役員に対する期待は大きいものがあります。当選者は次のとおり

理事当選者

小松慎一(高戸屋)。遠藤光昭(下小路)。柴田浩(須郷田)

佐藤正一(葎沢)。小松豊(高戸屋)以上五名玉米選挙区

佐々木金一郎(大琴)。阿部善信(蔵)。小笠原豊記(蔵新田)

。小松政治(下通)。小松文一(中通)。小笠原謙一(土場沢)。遠藤熊太郎(新旭)。以上七名下郷選挙区

監事当選者

佐藤豊(八日町)。佐藤徳四郎(泡ノ瀨)以上二名玉米選挙区

宮塚昭三(新町)。木島節造(蔵新田)。阿部和雄(杉森)。以上三名下郷選挙区

また、二十四日には第一回目

森林組合長に

工藤二三雄氏

任期満了による東田利町森林組合役員選挙は三月二十八日に行なわれ、新役員が次のとおり選出されました。

《理事》石綿王子雄、小野長兵衛、小番鉄平、木島節造、小野忠、横山広一、小野治右エ門、工藤武雄、工藤二三雄、佐藤公一、長谷山誠一郎

《監事》小松与惣雄、渡辺隆蔵

木島富三

また、四月十九日には第一回

目の役員会を開き、組合長など

首脳人事を決めました。

組合長理事 工藤二三雄氏

同 副 石綿王子雄氏

代表監事 小松与惣雄氏

共済組合総代きまる

四月十日、任期満了による由

利農業共済組合の総代選挙にお

いて、東田利関係では次の方が

選任されました。

《総代》畑山文一郎、高橋一男

小野政三、小松正次、佐藤末五

郎、村上耕一郎、高橋慶一、佐

藤好男、小松正、大場忠雄、大

庭光清、佐藤長治郎、今野易雄

小松惣一、遠藤真吉、佐々木正

男、小野長光、遠藤三治治、小

松良蔵、佐藤二郎、畠山清、長

谷山昭一、以上二十二名



心のこもった呼びかけで……

福祉の窓

この制度の目的は、老人福祉を増進するための「住」対策の重要性から、老人居室を整備しようとする方に対して資金の貸付を行うものです。

●貸付を受けられる人 — 60歳以上の高齢者と同居している方で、高齢者の専用居室を真に必要とし、自力での整備が困難な方（ただし、一定所得以下であること。53年度例 — 家族四人で四百七十万円以下）

老人居室整備に融資制度

申込みは毎年四月上旬～五月上旬

●貸付の対象となる事業 — 高齢者の専用居室整備のため、増築、または改築を行うこと。

●貸付金の限度額

— 一戸当り六十万円

●貸付の条件

・貸付利率 — 年二厘
・償還期間 — 十年以内で

みんな元気に…… きょうから保育園



入園風景
(永慶保育園で)

四月六日みどり保育園、同七日に永慶保育園の入園式が行なわれました。

お母さんやお父さんに手を引かれた新入園児もはじめはとまどい気味でしたが、二年目、三年目を迎えたおにいさんやおねえさんの歓迎の遊ばや、劇、うたなどですっかりほぐれ、元気いっぱい園内をはしやぎ回っていました。

式では、受持ちの先生から名前を呼ばれると、元気な声で返事をしていました。

中には、ほかの子どもが呼ばれたときに返事をする子がいたり、となりの子どもと遊んだりしている子がいたりして、園児よりも、おかあさんやおとうさんの方が緊張したようでした。式のあと、先生から紅白のおまんじゅうをもらい、大きな口いっぱいにして、仲よく食べていました。

また、本荘警察署の交通巡視員のおねえさんたちから、横断歩道の正しい渡り方をおそわり元気に、しかも真剣に練習していました。

▽町長年度始めに職員に訓示 △

町民の期待に応える活動を

昭和五十三年年度の年度始めに当たる四月一日、職員人事の異動辞令交付のあと、小松町長は全職員に対し、今年度の主要事業の概要を説明するとともに、次のような訓示を行ない、職員の一層の自己練磨と奮起を促しました。

①欧米においては四月一日にエープリルフルという慣習があるが、我々のこの職場でも、緊張の中に時として、ユーモアやウィット、笑いが必要である。
②単に東由利というのではなく、

とめをします。申請に必要な所定の用紙は役場にありますが、●貸付金の交付時期 — 工事完了届により現場調査し、申請内容と適合したと認められるときに交付日を指定します。

※ この「福祉の窓」欄は、福祉施策や制度を皆さんにもっとよく知っていただくためのものですが、もっと詳しく知りたい方は、直接役場（住民課住民厚生係）へお尋ねください。



ました。

町では、四月一日付で一般職の人事異動を次のとおり発令しました。（一）内は前任職

●総務課▽総務課参事解任、佐藤文十郎（企画室長、総務課参事兼任）▽財政係長 菅原賢治（企画財政係長）▽財政係兼総務係 高橋義勝（企画財政係）

▽総務係兼財政係 猪股寿和（総務係）▽総務係（広報）小松慶悦（産業経済課産業係）

●税務課▽賦課係（国保） 堀石文弥（総務課総務係）

●住民課▽保険衛生係（国保）石渡博澄（産業経済課構造改善係兼振興係）

●産業経済課▽農業構造改善係兼振興係 工藤良（税務課賦課係）▽産業係 小松秀穂（総務課企画財政係—広報）

●教育委員会へ出向▽社会教育係 小野長清（住民課保険衛生係—国保）

役場 おばさん退職

玉米小 長年、役場のおばさん、玉米小のおばさんとして広く親しまれてきました、高橋トイさん、阿部イエさんが三月三十一日で停年退職されました。

高橋さんは、昭和三十五年一月から十八年余、阿部さんは昭和二十六年三月から二十七年間、それぞれ長い間、誠実誠意をもって勤務され、その献身的な奉職に係者から深く感謝されております。

二人とも本当にご苦労さまでした。

東由利も全国の行政単位の中の一つであるという認識のもとに予算執行を考えてもらいたい。
③町三役、課長はもちろん、職員一人一人も東由利を代表する顔であるという自覚を持ち仕事をしてもらいたい。
④職務における研修はもちろんのことであるが、人格的、人間的な涵養についても、考えてもらいたい。
⑤人間には、個の倫理と場の倫理というものがあがるが、仕事を上ではその調整を充分考えてもらいたい。つまり、何をやるにもよくコミュニケーションをとってもらいたいということである
⑥「彼も人なり、我も人なり」という考えに立ち、気を大きく持ち、風格のある人間形成に努めてもらいたい。
⑦外面に表われる言語、態度、応対には庁内はもちろんの事、現場に出ても充分気をつけ、町民の期待に応えるよう活動をしてもらいたい。

この後、職員を代表し、建設課技師の柴田和尋が、「六年ぶりに辞令交付を受け、新たなため役場職員という責任を強く感じ今までの自分の行動を反省するとともに、六年前に提出した宣誓書を思い出し、町の職員として恥ずかしい行動と、町民の期待に応えるよう職務に専念したい。」と決意表明を行ない

町民のひろば



町の概要	
人口総数	6,460人
うち男	3,173人
うち女	3,287人
世帯数	1,476戸
面積	148.51 km ²
	53.4 .1

宿小が「優秀校」に

小さな科学者・大きな喜び

宿小学校が、科学技術庁が今年度から創設した「創意工夫育成優秀校」として、全国三校の中に選ばれました。

これは、小中学生の創意工夫の育成に顕著な成績を上げている学校の中でも、特に優秀と認められました。

められるものに与えられる賞です。

同校は、発明工夫活動を授業の中に組み入れるというユニークな教育で知られており、五十一年には二年連続、全日本発明工夫展に入賞したのをはじめ、郡市や県展での入賞は数えきれないほどです。

表彰状、桶を手

喜びの児童代表と先生……



表彰式は、四月十七日、科学技術庁長官室で行なわれ、担当教諭の中津川ユキヨ先生と、六年の畑山作栄君、五年の佐々木真由美さんが出席し、大臣から直接、表彰状、記念の桶、メダルをいただきました。中津川先生は

「……式が終わったあとの懇談会では、二人とも大臣の両脇に座らせられ、大きな手で頭をやさしくなでられるなど、一生の思い出になるでしょう」と、話していました。

また、同校の伊藤校長は「……純粋な生徒の気持ちや態度が気に入られたのでしょうか。非常にうれしいことです。今後、この子どもたちの能力を、できる限りのばしてやりたい。」

いずれにしても、生徒と先生それに父兄が一体となって努力してきた成果です」と喜びを語っていました。

結婚式のお祝金は

五千元以内に

このほど、町公民館と、町総合開発センターでは、結婚式のお祝金を、近親者及び特に懇意な方を除いて一般の知人、友人の方は五千元以内とする方針を決めました。

これは、年々豪華になる結婚式の簡素化について、総合開発センターの開館を機会に、町施設で行う結婚式に、招待を受けた方のお祝金を一定の範囲にとどめ、また披露宴の内容もできるだけ簡素にするよう工夫していただく方法にしたらと考え、公民館運営審議会及び総合開発センター運営協議会にはかり、決定したものです。

今後は、簡素ながらも意義深い結婚式をめざして、町民の理解と協力が望まれます。

社福だより

故小松徳太郎殿のご遺族(中通、小松順之助さん)より、香典返しとして七万円が届けられました。

どうもありがとうございます。故人のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

善意

袖山小に雑巾48枚
町連合婦人会袖山支部(鈴木マサヨ支部長)では、先ごろ袖山小学校に雑巾四十八枚を贈り、喜ばれています。

宿小に雑巾百枚と
時計一個

舟木の太庭ナオヨさんはこのほど宿小学校に雑巾一〇〇枚を贈り、喜ばれております。

秋田市在住の畑山清作さん(本町大琴出身)から宿小学校に掛時計一個が贈られ感謝されています。

蔵小に外ボウキ20本

黒沢の千葉五郎さんはこのほど蔵小学校に外ボウキ二十本を贈り、喜ばれています。



警察官異動

県警察官の定期異動により、本町駐在の警察官が次のとおり異動しました。

〔東由利警察官駐在所〕

▼転出

荒川直則(警部補)退職・七尾
佐一郎(巡査)西目駐在所へ

▼転入

鈴木幸雄(部長)五城目署から
・大湯正雄(巡査)小友駐在所から

労働基準監督署だより

昭和五十三年度の労働保険申告書の提出期限は、五月十五日です。お忘れなく期限まで、本荘労働基準監督署に提出して下さい。

事務指導をうけて提出する事業所は、期日近くなりますと混雑しますので早目においで下さい。

雇用保険の手続きは

雇用保険の手続きについては各市町村役場をとおして行ってください。

職安では、皆さんの便宜を図るため、①求職票 ②金融機関指定届を市町村役場に準備しており、書き方について指導してまいります。

本荘公共職業安定所

山火事を

防止しましょう

※火入れをする時は必ず町長の許可を受けましょう



慶弔

3月21〜4月20日



〇誕生
おめでとう

高橋 宏幸 久保 悦矢 長男
長谷山成子 地下の沢 明人 長女
古川久美子 上里 博 長女
佐藤まゆみ 石高 英 長女
佐藤 善輝 祝沢 忠 二男
小野 智樹 中通 義雄 二男
阿部 忍 岩館 市男 二男
木島あゆみ 大台 金男 長女



〇結婚
おしあわせに

佐々木 照雄 矢島町
小野 悦子 大琴
小松 聖明 須郷田
佐藤 ヒサ子 鳥海村

〇お悔み申し上げます。

遠藤 徳蔵 桂台 77歳
菊地与治郎 館西 66歳
鈴木 コマ 沼 67歳
遠藤治三郎 十二ノ前 79歳